

南アフリカ産柑橘類 収穫量は多いが課題も多い

FreshPlaza 2023年5月3日

オランダのオリジンフルーツダイレクト社では、南アフリカ産の最初のグレープフルーツとマンダリンの入荷が、南アフリカ産柑橘類のシーズンの始まりを告げている。最初のレモンも今週末までの入荷が期待されている。最近南アフリカの産地を訪れた同社のランドルフ・アルダイク氏は、「シーズン前はいつものように誰もが楽観的だが、南アフリカには克服すべき課題もある」と話し始めた。(以下「」は同氏の発言)

最大の課題は何かと尋ねると、同氏は笑いながら「結構な数があるが、時間はあるか」と答えた。電力負荷削減(電力網の負担を減らすために一定の時間行なわれる計画停電)は、特に幅広く影響する問題である。「時には、1日10時間から12時間電力が供給されないことさえある。それは一般の人々だけでなく、梱包施設や灌漑などにも大きな影響を及ぼしている。」

「包装、ディーゼル燃料、肥料、最低賃金などのすべてのコストも急騰している。これによって、果実一箱当たりの輸出コストが大幅に増加する。近年、海上輸送コストが非常に高い。少し下がっているが、まだ本来あるべき水準ではない。多くの柑橘農場が売りに出されており、今年はまだ一年生き残りを賭けることになる。」

「また、ヨーロッパの規制を満たすために、カンキツ黒星病(Citrus Black Spot)を駆除するのに莫大な費用がかかっている。残念ながら、今年は天候が好ましくなく、この真菌は一部の地域でかなり蔓延している。そのため、一部の生産者はヨーロッパに輸出するリスクを冒そうとさえしない。一方、ランド(南アフリカの通貨)が弱いため、現在の為替レートは南アフリカに有利であり、ユーロ/ドルの為替レートも完全に失望させるものではない。」

「グレープフルーツの出荷シーズンは、例年よりも良いスタートを切った。トルコ産が減っており、スペインとイスラエルにもグレープフルーツはあまりないので、市場には非常に荷が少ない。そのため南アフリカ産の最初のグレープフルーツの価格は良い。彼らはとにかくグレープフルーツの出荷期間を通常より短く、出荷量を通常より少なくしようとしている。また、必要な価格を得るために、大玉、小玉や2級品を輸出していない。」

「マンダリン類の価格も良い。ウンシュウミカンにつく値段の高さに驚いている。私の南アフリカ訪問中、ウンシュウミカンの収穫は終わっており、ノヴァやクレメヌーレなどの品種の収穫が始まった。作柄は良いようで、品質も良いようであったが、どのように市場に出してくるかは常に見極める必要がある。」

「南アフリカから最初のレモンが到着したら、次は最初のオレンジを待つ番だ。収穫は全般的に良さそうだ。ほとんどの地域、特に北部で十分な降雨量があり、果実のサイズは良好である。大玉については誰もがエジプトから買い付けているため、ほとんど出回っていない。したがって、エジプト産オレンジの出荷は当初の予想よりも早く終了するはずだ。」

「小玉はダブについて価格が低迷していたが、現在はわずかに上昇している。スペイン産はもうあまり供給がない。ギリシャ産はいつもどおり主にバルカン半島と東ヨーロッパに焦点を当てており、モロッコ産もほとんどない。この状況によって、(南アフリカ等)海外産のシーズンの良好なスタートへの道が開かれる。」